

奄美医療生協NEWS

お元気ですか

発行者
奄美医療生活協同組合
鹿児島県奄美市名瀬長浜町8-7
電話0997-52-0585
FAX 0997-52-8881

2023年3月13日(水)アマ
ホームPLAZAにて第46期臨時



第46期臨時総代会開催 徳之島診療所新築移転が決議！ みんなで守りつくり、地域に寄り添う結いの診療所

- 2面
・各区組員活動報告
- 3面
・事業所活動報告
- 4面
・2023年度理事長杯
グラウンドゴルフ大会
- 5面
・徳之島診療所新築移転特別増資のお願い
- 6面
・お元気ですかクイズへの参加について
・理事会だより
・ゆいちゃんがい

総代会が、本人出席67名、代理出席1名、書面議決66名の総代参加で開催されました。開催に当たり福崎雅彦理事長より挨拶と総代会成立の宣言が行われ、祐名新太郎専務理事より、「徳之島診療所新築移転及び事業譲渡・資産売却承認の件」「徳之島診療所新築移転の成功をめざす特別増資運動の推進について」「議案議決効力発生の件」についての3つの議案提案が行われました。

議案審議の中で、最初に徳田潔常勤理事（徳之島診療所所長）より、「徳之島診療所新築移転に向けた今後の事業展開」をテーマに新築移転の目的、コンセプトの意義、ポジショニング、今後の展望、新診療所の設計の特徴、特別増資運動の推進等について事業展望と新しい診療所への熱い想いを話さ



れました。発言の中にあつた「医療生協の組合員さんと共に作る、『書を捨てよ、街へ出よう』の言葉が印象的でした。」

続いて、伊仙支部恵幸夫総代（伊仙支部支部長）からは、これまで幾度となく経営危機、存続の危機等の苦難を乗り越えて切り開いてきた徳之島診療所の歴史、それを支えてきた組合員さんの想い等と合わせて、新築移転を成功させるための取り組みについて議案を推進する立場での発言が行われました。この時期は徳之島のサトウキビ、ジャガイモ収穫の繁忙期で、多くの組合員さんが参加することが厳しい中24名の組合員さんが

出席されているとの事でした。

次に、徳之島南支部西川三枝子総代（徳之島南支部支部長）から、支部活動の紹介と、多くの組合員さんへ楽しい組合員活動を紹介し参加を広く呼びかけ、特別増資運動へつなげていく事と、北大島区と南大島区とも連携しみんなの力で新築移転を成功させようとの発言が行われました。

最後に、伊仙支部富純一総代から医療生協の理念に立ち返り新築移転成功に向けた、利用結集、増資運動を大きく展開していこうと議案を推進する立場での発言がありました。

質疑討論の後採決が行われ提案された3つの議案は、全会一致で採決されました。

みんなで守り、つくり、地域に寄り添う結いの診療所

みんなの力で徳之島診療所新築移転を成功させましよう。

北大島区 大和支部

宮古崎つつじウォーク
健康を守るお手伝い



3月10日(日)、大和支部では、地域のイベント『宮古崎つつじウォーク』に、健康チェックで参加しました。

受付くウォーキング前の時間帯で、血圧・血管年齢・握力を測定。参加者約200名のうち、43名の方が健康チェックを受けられました。

大和支部ではこのイベントへの参加を続け、参加者の健康を守るお手伝いを続けて来しました。当日は、村内外からや子供達の参加も多く、医療福祉生協をアピールすることが出来ました。

お天気にも恵まれ、参加者は植樹やウォーキング、終了後の昼食交流まで、早春の宮古崎を満喫していました。今後も、取り組みを続けて行きます。

地域支援部 石井 仁久

南大島区 西方支部

支部グラウンドゴルフ大会
グラウンドゴルフで健康づくり

3月3日(日)、瀬戸内町篠川の能佐グラウンドゴルフ場において、西方支部主催の「南大島区西方グラウンドゴルフ大会」を開催しました。この日は天候も日差しも強くなく風も控えめで、絶好のゴルフ日和でした。

参加者は34名で、西方だけでなく東方からも参加がありました。篠川のゴルフ場は、東方から参加している組合員にとっては新鮮な



コースが多く、とても楽しんでいる様子でした。そして、24日(日)に理事長杯も控えており、その練習も兼ね、皆さん楽しみながらもお互いに競っていました。グラウンドゴルフは南大島区でもとても盛んな競技ですので、次年度も交流も兼ねて取り組んでいきたいと思えます。

地域支援部 嘉野善一郎



徳之島以南区 井之川地域サロン

健康づくり教室開催
認知症予防に！マインド食



3月15日(金)、井之川地域サロンで健康チェックと健康づくり教室「マインド食」を、組合員8名、職員3名の参加で開催しました。

機関紙「お元気ですか」

の健康づくり教室の案内をみて「サロンでもできませんか」とお声をかけていただき今回の開催となりました。「マインド食」では、1週間の食事を構成する「摂取すべき10食品」と「摂取を控えるべき5食品」を一緒に確認しながらチェックしました。

参加者からは「勉強になりました」「健康チェックができてよかったです」などの声も聞かれました。

地域支援部 伊 加代子

奄美中央病院

ことばとからだの相談
にこにこ班会開催



奄美中央病院 小児科チームによる特別発達外来・にこにこ班会が開催されました。

特別発達外来は、小児発達専門の酒井先生（鹿児島生協病院）の診察日に行われ、酒井先生には、お子さんの状態を丁寧に診ていただき、「親御さんや支援者に関わり方などを具体的にアドバイスいただけるのでとても安心です」との声が寄せられています。

にこにこ班会はことばとからだの相談会として昨年開催し、今回で7回目となります。

多職種で、遊びを通して慣れしてもらいながら確認（評価）を行います。その後、個別のブース

で困りごとの確認とアドバイスをを行いました。参加者からは、「とても勉強になりました。よかったです」などの感想をいただきました。

今回も参加した全ての方にとって有意義なひと時になったことと思います。ありがとうございます。

南大島診療所・老健せとうち

増田幸雄施設長

おつかれさまでした



奄美医療生協で16年、介護老人保健施設せとうち・南大島診療所で6年勤務された増田幸雄施設長が3月31日付をもって定年退職されました。勤務最後の日には南大島区での6年間を振り返り全部門に温かいメッセージを頂きました。わたしたちは思いをしっかりと

と受け止め、より一層頑張ってください。増田幸雄施設長、大変お世話になりました。ありがとうございました。



あたらしく、南大島診療所・老健せとうちの事務長に就任しました盛 寿賀乃

（もり すがの）です。先輩方や地域組合員のみなさまのお力をお借りしながら、ひとつひとつ丁寧に課題に向き合いスタッフとともに頑張っています。

どうぞよろしくお願いたします。

徳之島区在宅事業所

災害時事業持続計画
地域・事業所連携がカギ

災害時の事業継続計画（BCP）の取組みについて、在宅酸素療法、人工呼吸器管理中の訪問看護利用者宅にて、災害個別支援計画に関わる支援策検討会が行われました。

生協訪問看護あまぎの他、保健所、消防、徳洲会訪問看護、区長、



民生委員、社協相談員、行政（包括、総務防災係、地域福祉課）計16名が集まり、話し合いました。いつ発生するか予想できない災害時、生命を守るために、地域、行政、事業所の連携が重要です。



2023年度 理事長杯グラウンドゴルフ大会開催

日頃の練習成果が活かされた・・・・・・・・？



2024年3月24日(日) 住用マングローブパークグラウンドゴルフ場において、奄美医療生協理事長杯グラウンドゴルフ大会が、組合員95名の参加で開催されました。2年ぶりに開催された大会へは、南大島区からも多くの組合員さんの参加もあり、日頃の練習の成果を見せようと受付時間前から会場へ入り練習するなど意気込みにも凄さを感じました。福崎雅彦理事長の開会挨拶で全員が「エイエイオー」と気合をいれ、楽しい雰囲気のなか大会はスタートしました。

結果は優勝 茂野純次さん(39打)、準優勝 森 省蔵さん(40打)、第3位 谷村一夫さん(41打)となり賞状と賞品のお米が贈呈されました。その他にもとび賞、ブービー賞、当日賞、ホールインワン賞など盛り沢山の賞が準備され楽しいグラウンドゴルフ大会となりました。

毎年開催される「理事長杯グラウンドゴルフ大会」へ、医療生協組合員さんになって参加しませんか。どなたでも、お一人でも参加できます。よろしく願い致します。



入賞された3名



ゆいちゃんポロシャツで参加の南大島区チーム



気持ちいい～
新緑のグラウンドゴルフ場



徳之島診療所新築移転特別増資のお願い

徳之島診療所新築移転にお力をお貸し下さい

徳之島診療所は1965年、奄美大島診療所徳之島分院として亀津地区で診療を開始しました。慢性的な生活苦の中、島民にとって医療など問題外で、多くの方が病気になっても医者にかかれない状態でした。奄美診療所（旧名瀬市）、南大島診療所（瀬戸内）等民主的医療機関の広がりの中、地域要求に応え民家を借り、住民の手作りで奄美大島診療所徳之島分院は開設されました。

1968年に奄美大島診療所徳之島分院を発展させ、伊仙町の協力のもと面縄に移転しました。その年の12月に伊仙町の中学校を中心に集落まで広域に発生した集団赤痢では、民医連の医療機関として全国へ医師派遣を要請する等、感染鎮静へ大きく貢献しました。診療所が島民に広く知られるようになり、全島から受診に多くの住民が訪れるようになりました。

その後、徳之島医療生活協同組合として生協の診療所となり、1990年に合併し奄美医療生活協同組合が誕生しました。合併母体は徳之島医療生協でした。診療開始から2025年に創立60周年を迎えます。

幾多の苦難をのりこえ診療を続けられたのは、地域の方々、組合員さんの支えがあったからです。生協の診療所として地域組合員さんと協同で運営してきたからです。いま2025年の診療開始を目指して、新築移転の準備をすすめているところです。地域のために、患者様、利用者様に寄り添う医療・介護・福祉を未来に繋いでいくためにも新築移転事業を成功させる覚悟です。

ぜひ、特別増資運動へのご協力をよろしくお願い致します。

徳之島診療所新築移転特別増資のお申し込み、お問い合わせ先

- 北大島区 : 奄美中央病院 : 52-6565 本部・地域支援部 : 52-0585 / 52-5770
- 南大島区 : 南大島診療所 : 72-0107
- 徳之島以南区 : 徳之島診療所 : 83-2131



1965年（徳之島町亀津）



1968年（伊仙町面縄）



1980年～（徳之島町亀津）

地域に寄り添うゆいの診療所

2025年 新築移転



ゆいちゃんがいく No.45 Toshi

お元気ですかクイズへの参加がしやすくなります

お元気ですかクイズ応募用紙

回答、感想をご記入の上提出してください。

※提出締め切り厳守
過ぎたら無効です

(仮)

お元気ですかクイズへのご応募と読者だよりへのご感想など多数お寄せいただき、深く感謝いたします。ありがとうございます。皆様の貴重なお便りが、紙面づくりの大きな励みとなっています。編集委員会では、より多くの組合員さんの参加を広げるために、クイズ応募用紙を配布することにしました。従来のはがき、メールと併せてご利用ください。

応募用紙は、対象となる発行号と締切日をご確認の上ご利用ください。運営委員会、班会でも支援部担当職員から貰うことができます。より多くのご意見、お便りをお待ちしています。

※用紙設置、配布は次回クイズより実施いたします。

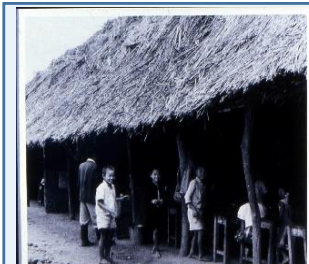
応募用紙の提出は
(当面の回収は地域支援担当のみです)

北大島区
本都地域支援部 または 区支部運営委員会 (開始日確認) にて回収

南大島区
南大島診療所 (地域支援部担当) または 区支部運営委員会 (開催日確認) にて回収

徳之島以南区
徳之島診療所 (知己支援部担当) または 区支部運営委員会 (開催日確認) にて回収

※運営委員会回収希望者は当該支部運営委員にお預け下さい。



奄美医療生活協同組合は今年創立70周年を迎えます②
創立時は医師確保、定着は困難を極めた
「アル中」「精神病者」「にせ医者」
担当者は全国をかけまわった



島全体が貧しかったが子どもたちはとても元気だった



診療を維持、成長できたのは患者、地域の方々の支えがあったから
当時の職員もいきいきと笑顔があふれていた

地域の人々の切実な要求によって設立され、患者が自分達のために発展させてきた医療機関である



ベットもナースコールも手作りでも創立の精神のもと活力があった

地域の人々の医療要求に応じていくことを使命として「患者の立場にたって親切でよい診療を行なう」事を自ら宣言している医療機関



医療・介護制度を患者利用者ととも改善に取り組む医療機関



合併時の意義と目的
奄美医療生活協3法人合併で発足
群島全体を視野に入れた医療活動
新たな厳しい医療環境を攻勢的に乗り越えていくために
人事の交流・活性化のために
創立の精神を引き継ぎつつ、更に
民主的な医療展開を目指して